

地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『いつまでも水と緑あふれる美しいまち』を目指して、
クリーン作戦
資源活用プロジェクト
名所づくりプロジェクト
環境保全プロジェクト



『若者が働き住み続ける活気あるまち』を目指して、
球磨川の笑顔をとりにどそう
坂本町民を大雇用
安心安全な農業づくり
永住できる住まいを！！
商品大作戦



『年をとっても元気で安心して暮らせるまち』
を目指して、
外さん出かける大作戦！
どぎゃんかして止めんばんですプロジェクト！
火番まわり大作戦！



『心豊かな子どもが育つまち』を目指して、
何が何でもこれが大事！
体を鍛える大作戦！
子どもの交流大作戦！
仲間を集めよう大作戦！
親が心豊かになる大作戦！
お金のかからない子育て



『災害に強く安心して暮らせるまち』を目指して、
自主防災大作戦
災害・犯罪を未然に防ごうプロジェクト



『便利に移動できるまち』を目指して、
なんさま道の整備
老後も安心、便利足バスの活用



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。
今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日(火)
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり



第2回

「想いを語る」9月26日(火)
地域の重点課題
まちづくりの目標



第3回

「取り組みを考える」10月17日(火)
目標の実現に向けた取り組み

お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944

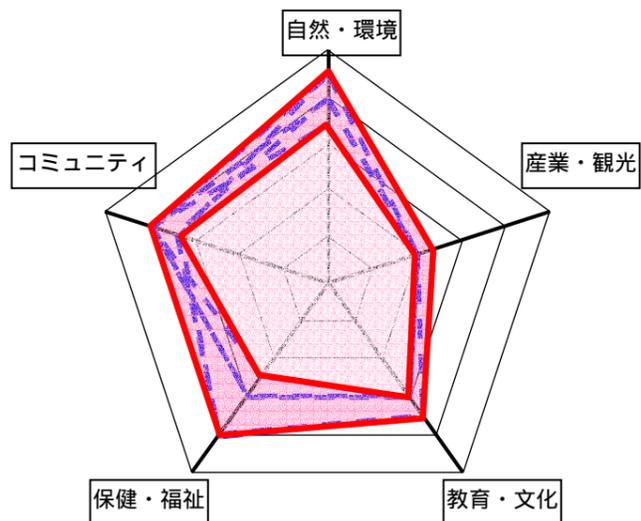
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のこと気づかされました。



「産業・観光」「教育・文化」の評価が低く、大きな課題となっている。

「自然環境」は、水と緑豊かな自然が高く評価されているが、その管理、災害が問題となっている。

○「産業・観光」は、中心となる産業がなく、観光の素材はあるものの十分に活用されていないなど、大きな課題としての認識が高い。

「教育・文化」は、子どもの少なさにプラス・マイナスの両面がそれぞれあるが、地域の伝統行事や文化活動は高い評価を得ている。

「保健・福祉」は、施設が充実し元気な高齢者が多い一方で、医療費負担の増加や福祉サービスの低下、医療機関への不便さが指摘されている。

○「コミュニティ」は、人間関係の希薄化が懸念されているが、地域のつながりの評価は高い。

第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

| 課題 | 坂本 |
|---|----|
| 1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育むべきだ | 15 |
| 2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育むべきだ | 9 |
| 3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ | 7 |
| 4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ | 2 |
| 5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ | 8 |
| 6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ | 0 |
| 7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ | 0 |
| 8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ | 35 |
| 9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ | 1 |
| 10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ | 3 |
| 11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ | 13 |
| 12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育む教育を進めるべきだ | 6 |
| 13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ | 8 |
| 14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ | 0 |
| 15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ | 6 |
| 16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ | 0 |
| 17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ | 4 |
| 18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ | 18 |
| 19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ | 7 |
| 20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ | 1 |
| 21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ | 12 |
| 22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ | 6 |
| 23.ボランティアやNPOの活動を活発化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ | 2 |
| 24.地域の連携と交流を活発化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ | 6 |
| 25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)市民の参加(活動)を取り入れるべきだ | 3 |
| 26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ | 0 |
| 27.その他 | 1 |

まちづくりの目標
 『いつまでも水と緑あふれる美しいまち』
 『若者が働き住み続ける活気あるまち』
 『年をとっても元気で安心して暮らせるまち』
 『心豊かな子どもが育つまち』
 『災害に強く安心して暮らせるまち』
 『便利に移動できるまち』

